

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2026年9月169号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 AIG 熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <https://www.higohoken.co.jp>

定期便

check



SDGs 10年戦略

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

いつも
ありがとうございます。

「命を守る対応から、暮らしと地域経済を立て直す復旧・復興へ。ただ、地震への警戒はまだ終わってはいません。」



復旧はまだ道半ば

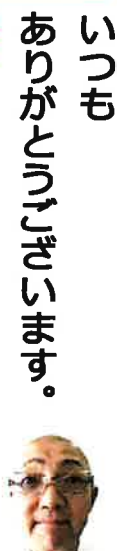
「9月1日は防災の日。今年は熊本にとっていつもとは違う意味を持ちます。」

「今の時代、経営者が見るべきなのは離職率だけではありません。社員がどれだけ会社の未来に関わっているのか。その「見えないう指標」に、組織の将来が映っています。」

「特に中小企業では、経営者の言葉や態度が組織文化をつくります。『最近どうですか？』と声を掛け、『これから何をやりたいのか』『会社に何を期待しているのか』に耳を傾けることが重要です。」

「経営者にとって厄介なのは、表面上は『問題社員』に見えないことです。しかし、本当に怖いのは、一人の意欲低下が『言われたことだけやればいい』という組織の空気に変わることです。」

「会社を辞めるわけでも、仕事を放棄するわけでもありません。与えられた仕事はこなす一方で、新しいことへの挑戦や周囲への関与を減らす。『静かな退職』と呼ばれる働き方です。」



スマイル びより

事務スタッフの
コラムをお届けします



こんにちは！事務スタッフの沼です。今年の夏も猛烈な暑さで、まだまだ暑い日が続いていますが、皆さんはどのように暑さをしのいでいますか？私はひんやりスイーツで涼むのがお気に入りです。

先日、熊本の銘菓としておなじみの「陣太鼓」を使った、お菓子の香梅の「陣太鼓ソフト」を食べに行きました。ソフトクリームの中には、陣太鼓が丸々1個刻んで練り込まれており、ひと口食べると、なめらかなソフトクリームの冷たさと、粒々の小豆、そして求肥のもっちりとした食感が楽しめます。

和菓子とソフトクリームの組み合わせがとても新鮮で、暑い日にぴったりのひんやりスイーツに元気をチャージできました。



お菓子の香梅の陣太鼓ソフト

ALL About The ぽけん

2026年6月、改正保険業法が施行されました。注目されるのが、乗合代理店による比較推奨販売の適正化です。顧客の意向を踏まえた比較・推奨に加え、保険会社との取引関係が商品選択に影響していないかも問われます。

乗合代理店の強みは複数社の商品を扱えること。しかし、手数料や販売実績、保険会社からの営業支援が商品選択に影響する可能性はあります。特定の保険会社との関係性を背景に商品を推奨するのではなく、顧客にとっての商品価値を軸に選ばなければなりません。

そのためには、保険会社も比較されたときに選ばれる商品を作る必要があります。代理店と保険会社の競争が、それぞれ別の方向から「商品価値」へと収斂していく可能性があると思います。





保険の「安心」を買いすぎない 主契約と保障の重複を見直す



生命保険の見直して、意外と分かりにくいのが「主契約」と「特約」の関係です。

例えば「定期保険特約付終身保険」。終身保険 500 万円を主契約とし、定期保険特約 2,000 万円を上乗せすると、一定期間は 2,500 万円の死亡保障になります。

ただし、2,500 万円が一つの保障ではありません。500 万円は一生の主契約、2,000 万円は一定期間だけの特約です。特約期間が終われば、原則として残るのは終身保険の 500 万円です。

もう一つ注意したいのが「保障の重複」です。医療保険、生命保険、勤務先

の団体保険などに、同じような入院保障が付いているケースがあります。重複が必ずしも無駄とは限りません。複数の契約から給付を受けられる場合もあるからです。重要なのは、「どんな条件で、いくら受け取れるのか」を確認することです。

また、公的保障も忘れてはいけません。民間保険は、公的医療保険で足りない部分を補うのが基本です。保険を見直すときは、「どの特約を付けるか」ではなく、まず現在の保障と公的保障を確認します。そのうえで、不足する部分だけを特約で補います。

「この特約は、何のためにあるのでしょうか」。この問いに答えられることが、賢い保険選びの出発点です。



肥後保険登山倶楽部

こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回はお盆休みに北アルプスの白馬岳(2,932m)へ上ってきました。北アルプスの一番北にあり長野、富山、新潟に亘って鎮座しています。

この山には日本一のスケールを誇る白馬大雪渓といわれる万年雪が残る氷河のような場所を自分の足で登ることが醍醐味の山です。もちろん山頂からの眺望も北アルプスの山々の連なりや、この辺りにしか棲息しないライチョウなど九州とは一味違う楽しみが堪能できる山となっています。下山時には白馬大池というとても美しい火山湖を眺めながらの 1 泊 2 日の山

旅でした。

酸素が薄いのと距離が長いのでそれなりの体力と気力が必要ですが、再び訪れたいと思いました。



大雪渓の入り口

リーダーを育てる会社
つぶす会社



「自分が頑張る会社」から「人が育ち続ける会社」へ。その一歩を踏み出せるかが、企業の未来を分けるのだと感じた一冊だった。

強い会社とは、社長が強い会社ではない。社長がいなくても、次のリーダーが会社を前に進められる会社である。

「自分が頑張る会社」から「人が育ち続ける会社」へ。その一歩を踏み出せるかが、企業の未来を分けるのだと感じた一冊だった。

ウェルビーイング推進事務局より



「健康経営で日本を変える」というシンポジウムにオンライン参加しました。健康経営優良法人認定2027の申請開始を目前に控え、政策・有識者・企業など多様な立場から実践事例や最新情報を聞いて、トレンドを把握するとともに、国の指針や健康経営の軸を改めて確認することができました。

健康経営に取り組む企業のメリットとして、業績向上や離職率の低下が繰り返し示されています。また、効果は短期的に現れるものではなく、数年かけて積み上がるものだという統計も紹介され、私たち自身の経験とも重なり納得するものでした。



オンラインセミナー

健康経営優良法人に認定されている中小企業は0.69%。健康経営に関心のある企業だけでなく、まだ取り組んでいない企業にも普及啓発を広げていきたいという強い思いも感じられました。

今月の読書感想文

中小企業では、社長が営業し、顧客をつかみ、問題が起きれば自ら解決する。創業期には、それが会社の強さになる。

しかし、成長しても「自分でやったほうが早い」を続けられれば、社員は考えるより指示を待つようになる。「うちには人材がない」と嘆く前に、経営者自身が「人が育つ仕事を任せているか」を問う必要がある。

リーダーは、研修だけでは育たない。仕事を任せ、判断させ、失敗させ、責任を持たせる。その経験が人をリーダーに変えていく。

強い会社とは、社長が強い会社ではない。社長がいなくても、次のリーダーが会社を前に進められる会社である。

「自分が頑張る会社」から「人が育ち続ける会社」へ。その一歩を踏み出せるかが、企業の未来を分けるのだと感じた一冊だった。